

新たなエネルギーのまちの形成による 経済と環境の共存プロジェクト

目標総額
718,000千円



若い世代から高齢者まで、柏崎市で働きたいと思える環境を充実させ、まちの活性化へ

◆ 新たな産業の創出

「石油産業のまち」、「原子力産業のまち」として発展してきた柏崎市。

これからは、脱炭素エネルギーの利活用を進めることで、地球にやさしく持続可能な産業構造をつくり、将来世代にも豊かな生活をつないでいく「脱炭素のまち」を目指しています。

地域エネルギー会社との連携

再生可能エネルギー政策を実行的に推進する地域エネルギー会社「柏崎あい・あーるエナジー(株)」を令和4年3月に設立。地域産業に向けて脱炭素エネルギーを供給するため、再生可能エネルギー発電設備の開発や市内外からの調達に取り組みます。中長期的には、首都圏に向けた脱炭素エネルギーの供給を目指します。

本市は、地域エネルギー会社と連携を図りながら、次世代エネルギーの活用推進、廃炉産業調査研究などにも取り組みます。

地域だからできる
地域脱炭素社会モデル
=将来へのチャレンジ
一緒に実現しませんか？

再エネ政策イメージ



◆ 地域産業の稼ぐ力の拡大

本市の基幹産業であるものづくり産業を始め様々な分野でIoTやAIの導入促進による生産性の向上、ブランド力向上による稼げる農林水産業への取組強化、豊かな自然とおいしい食を活かした観光産業の強化 など



寄附をいただいた企業様は、地域貢献に取り組む企業として、本市ホームページ等で紹介させていただきます。